



# TORNADO マフラー取扱説明書

Reducer SYSTEM

商品番号	: 04-02-081
適応車種	: モンキー・ゴリラ・モンキーBAJA
フレームNO.	: Z50J-1300017~ AB27-1000001~

このたびは武川製品を、お買い上げ戴きまして有り難う御座います。  
このトルネードマフラーは、長年に渡る4ストロークの商品開発のノウハウを駆使し設計、製造しております。  
あらゆるユースに、対応しやすい様、設計しております。ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読み戴き、ご理解した上ご使用下さい。

## 正しく安全に御使用頂くために必ずお読み下さい。

TYPE-1スイングアーム 06-03-064/06-03-065 は、取り付け出来ません。

スプレッドライク - 付きスイングアームをご使用される場合は、TYPE-2スイングアーム 06-03-074/06-03-075 をご使用下さい。

バックステップの取り付けは、出来ません。

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても、当社製品以外の部品の保証はどのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

指定部品以外との組み合わせはご遠慮下さい



### 注意

この表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

このマフラーは、進行方向に向かって右側から立ち上がっています。エンジン回転中は容易に足などをマフラー方向に近づけない様心掛けて下さい。

(火傷の原因となります。)

作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。

(火傷の原因となります。)

規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。

(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。

(ケガの原因となります。)

マフラーを水洗いする時は、必ず冷間時(マフラーが冷えている時)に行ってください。

(マフラーのヒビ割れの原因となります。)

車両を駐停車させる場合は、歩行者等がマフラー等に接触しない様な場所に止めて下さい。歩行者や走行車両等が邪魔にならない場所に止める様心掛けて下さい。(歩道等に歩行者が歩く方向にマフラーを向けて車両を止めたりすると、歩行者等がマフラーに接触し火傷又は物的損害を被ったり車イスの人が通れなくなる場合があります。)

走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落の原因となります。)

STDキックスターアームが踏みにくくなります。当社キックスターアームのご使用をおすすめします。

JMCAカードに明記している規定値は、エンジンがノーマルの状態での規定値です。エンジンパーツを交換及び改造している車両は、JMCA認定外になります。又、マフラーを、分解、加工、改造した場合もJMCA認定外になります。



### 警告

この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

エンジン回転中は、マフラー出口を絶対のぞかないで下さい。

(一酸化炭素中毒、失明等になる恐れがあります。)

走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。

(事故につながる恐れがあります。)

走行前に、必ずバンク角のチェックを行い、そのバンク角以上にバンクさせない様な、走行を心掛けて下さい。

(転倒につながる恐れがあります。)

エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。(火災につながる恐れがあります。)

製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。

(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。

(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。

(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

このマフラーは、ダウンマフラーですのでSTDマフラーに比べ最低地上高が低くなります。走行中は、路面の凸凹に注意して走行して下さい。

(マフラーの破損、転倒につながる恐れがあります。)

## 商品内容



2



1



3



4

NO.	Description	QTY
1	エキゾーストパイプ	1
2	マフラーCOMP	1
3	ジョイントスプリング	1
4	スプリングピン	1
	JMCAカード	1

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品及び価格は予告無く変更されますので、ご了承ください。

補修パーツについては、お買い上げ販売店、もしくは、お電話にて当社にお問い合わせ下さい。

他社製パーツとのマッチングの問い合わせは、御遠慮下さい。

この説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きまます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

### SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>

## 取 り 付 け 要 領

### STD部品取り外し

1 .



エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。

⚠注意：必ず冷間時に行うこと。

2 .



キャブレターとエアークリーナーとをクランプしているバンドを緩め、エアークリーナーを取り外す。

3 .



マフラー本体裏側に止まっているナットを取り外す。

4 .



EXパイプ部のナット2個を取り外す。

5 .



マフラー本体を止めている六角ボルトを取り外す。

6 .



フランジのカラー2個を取り外し、外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。

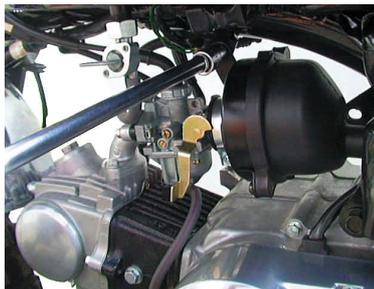


7 .



EXポート部に入っている古いエキゾーストガスケットを外す。

8 .



取り外したエアークリーナーを、取り外しと逆手順で取り付け。

12V車は、アース線の取り付けを忘れないこと。

⚠注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 8 \sim 10 \text{ N} \cdot \text{m} (0.8 \sim 1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

## マフラー取り付け

1.



メンテナンススタンド等で車両を安定させます。

⚠ 警告：水平な場所で車両を安定させること。

2.



新品のエキゾーストパイプガasketをEXポート部にさし込み取り付け。  
純正品番 18291-001-010(ホンダ)

3.



リヤブレーキ-ム、ピボット部の割ヒンをブライヤ-等で取り外し、ワッシャ-を取り外します。

4.



エキゾ-ストパイプをマフラー-COMPに差込みエキゾ-ストパイプスプリングフック部及びマフラー-COMPスプリングフック部にジョイントスプリングをスプリングフック等の工具で取り付けます。  
差込み部分に耐熱液体ガasketの塗布をお勧めします。  
(スリ-ボント 1207B 相当品)

5.



エキゾ-ストパイプをシリンダ-ヘッドEXボ-ト部に差込み、STDナットを用いて仮締めします。

6.



マフラー-COMPステ-部をリヤブレーキ-ムピボットシャフトに取り付けます。

7.



リヤブレーキ-ムピボットシャフトの穴にKIT内のスプリングピンを取り付けマフラー-COMPを固定します。

8.



シリンダ-ヘッドEXボ-ト部のSTDナットを均等に規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る

こと。  
T = 8 ~ 12 N · m  
(0.8 ~ 1.2 kg f · m)

9. マフラー-に付着した汚れをよく拭き取ります。

10.



マフラー-に貼り付けてあるネ-ムプレート及びJMCAプレートの保護フィルムを剥がします。

11. エンジンを開始させ、排気漏れの有無を確認します。

⚠ 警告：必ず換気の良い場所で行うこと。

12. 各部をもう一度規定トルクで増し締めします。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る

こと。  
⚠ 注意：必ず冷間時に行うこと。